





整理番号	HT26039	分野	社会、医歯薬学 (キーワード)ノーマライゼーション、精神障がい、交流
------	---------	----	------------------------------------

日本赤十字北海道看護大学

プログラム名

目に「見えない」しょうがいをもつ人と、会って、話して、遊んでみよう

先生(代表者)	吉谷 優子(よしたに ゆうこ) 看護学部・講師		
自己紹介	<p>小学生のころから、「しょうがい」のある友達との交流の機会にめぐまれ、中学からはしょうがい児・者のためのボランティア活動に取り組んできました。その中で、特に見た目には周りの人にわかりにくい「見えない」しょうがい、つまり、知的しょうがい・せいしんしょうがいの人の存在や生活にふれてきました。</p> <p>今は、さまざまなしょうがいを持つ人が社会にいることが当たり前な時代が来るのを楽しみにしながら、せいしんしょうがい者への手助けについて研究しています。また、大学以外では「しゅうろう訓練事業所」という、しょうがいを持った人が仕事につけるよう訓練をする場所の運いに関わっています。</p>		
開催日時・主な募集対象	平成26年10月4日(土)	(対象) 小学校 5・6 年生 及び中学生	(人数) 30名
集合場所・時間	日本赤十字北海道看護大学 食堂	(集合時間)	10:00
開催会場(集合場所)	日本赤十字北海道看護大学 学生ホール及び学生食堂 住所: 〒090-0011 北海道北見市曙町 664-1 アクセスマップ: <a href="http://www.rchokkaido-cn.ac.jp/facilities/access.html">http://www.rchokkaido-cn.ac.jp/facilities/access.html</a>		
<b>内 容</b>			
<p>みなさんは「しょうがい者」を知っていますか。みなさんの学校や近所にも、ふつうにくらしている「しょうがい者」や「しょうがい児」がいることでしょう。今、日本でも、世界でも、しょうがいがあってもふつうに暮らせる「ノーマライゼーション」を目指しています。しょうがいの中でも「せいしんしょうがい」は、見た目にはわかりにくく、「こころ」、「せいしん」の働きに「しょうがい」があり、体の動きには困ってなくても、生活の中で配りよが必要です。もちろん、しょうがい者自身も、自分で健康な生活ができるように、自分自身でも配りよをして生活しています。</p> <p>このプログラムでは、目に「見えない」しょうがいをもつ人と会って、話して、絵画を制作して、一しょにお昼ご飯を食べて、「ノーマライゼーション」のために何ができるか、一しょに考えてみましょう。</p>			
			
しゅうろう訓練事業所での仕事 (かわの靴を縫う)	昨年度のプログラムの様子 (完成した、あるグループの絵画)	昨年度のプログラムの様子 (グループでの絵画制作)	
※写真に写っている人には、写真を載せる了かいを得ています			

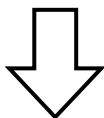
スケジュール	持 ち 物
9:30- 10:00 受付(日本赤十字北海道看護大学 学生ホール)	絵の具を使用しますので、よごれてもかまわない服そいで来てください。
10:00- 10:05 開校式:あいさつ オリエンテーション 科研費の説明	
10:05- 10:20 講義「ノーマライゼーション社会の実現を目指して」 (講師:吉谷優子)	特 記 事 項
10:20-10:25 休けい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●できれば、 『『しょうがい者』や『しょうがい児』が不便せず、ふつうに、みんなと一しょにくらすためにはどうしたらいいか』を、参加前に考えてみてください。</li> <li>●昼食を準備しますので、材料等に特別な配慮の必要な人は、事前にお知らせください。対応を相談させていただきます。</li> </ul>
10:25-10:30 アイスブレーキング (きんちょうをほぐし交流を図るためにゲームで軽く体を動かす)	
10:30-10:40 グループ学習のオリエンテーション (作業場所・注意事項・画材使用方法や配分)	
10:40-11:25 グループに分かれ、しょうがいの体験、しょうがい者との交流の体験、などを語り合いながら、「ノーマライゼーションが実現されたしょう来のまち」という絵を各グループで作成	
11:25-12:10 休けい・交流しながら昼食	
12:10-12:55 グループに分かれ、しょうがいの体験、しょうがい者との交流の体験、などを語り合いながら、「ノーマライゼーションが実現されたしょう来のまち」という絵を各グループで作成	
12:55-13:30 作品発表会	
13:30-14:00 修了式(未来博士号授与)	
14:00-14:10 記念撮影	
14:10-14:40 グループに分かれ、アルバイト学生・実施者引率にて大学内施設の見学	
14:40-14:50 アンケート記入・終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	日本赤十字北海道看護大学 経理課(研究地域連携担当) 植村 公一(うえむら こういち)
住 所：	〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1
TEL 番号：	0157-66-3311(代)
FAX 番号：	0157-61-3125(代)
E - m a i l：	hirameki01@rchokkaido-cn.ac.jp
申込締切日：	平成26年9月5日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
吉谷 優子	H10-H11	奨励研究(A)	10771363	精神障害者地域ケアの援助方法の歴史



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。